



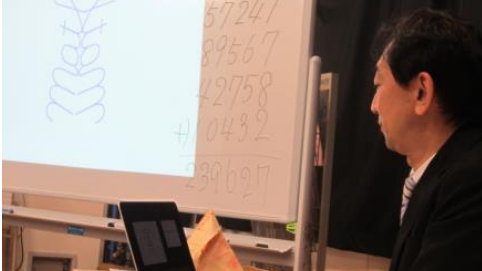


中学校数学教育 理論 研修会 終了報告

テーマ	数学的活動を意識した授業の実際とその工夫	
日時	平成 27年 6月 5日 (金)	
会場	江別市立大麻中学校	
講師	山崎 浩二 氏 (岩手大学 数学教育 教授)	
参加者	33名	
研修会 の 様子		<p>山崎氏による「出前授業」を行いました。 1年生に対して「正の数、負の数」の学習を活用し、事象を数学的に捉え、判断する活動をうながしました。</p>
		<p>出前授業では、生徒ひとりひとりの考えを大切にし、とりあげながら展開されました。山崎氏は、机間指導・机間巡視をていねいに行っていました。</p>
		<p>授業を通して、「数学的活動」を充実させるために、生徒に目的意識を意図的に仕組んでいました。また、さらにその意識を高めていくような発問、「本当にそうなの?」「どうしてそうなの?」と生徒に問いかけていました。</p>
		<p>後半の講演会では、「数学的活動とは」というテーマでその捉え方、授業ではどう意識していくのかなど、わかりやすく説明がありました。</p>
		<p>実際の問題を紹介しながらの講演は参加者にもわかりやすく、真剣な表情で熱心にメモをとる姿が多く見られ、大変有意義な研修会となりました。</p>